

被災した北防波堤用のケーソン製作現場の見学会を開催しました

～ 6月12日 むつ小川原港ケーソンヤード ～

去る6月12日(火)、八戸工業高校土木科3年生(33名)によるケーソン製作現場の見学会を開催しました。見学会では、ケーソンの製作手順等について説明を受け、被災を受けた八太郎北防波堤用のケーソン製作状況を見学しました。

教師の冷水先生より『災害復旧工事が進む様子を見学させていただきました。ケーソンヤードやケーソン本体の大きさに生徒は驚いていました。』との感想をいただきました。

また、生徒からも

『ケーソン自体の大きさに圧倒された。この中で作業をしている人が本当に小さく見えるほどの大きさだった』

『土木の凄さ、人の力というのが改めて凄いものだった』

『実際のケーソンを見ると迫力があり、これが水の力で浮き上がるとは全然想像がつかなかった』

『凄い現場だと感じた。海の近くにこのような巨大な施設を建設したと思うと驚きである』

『ケーソンを作るのに100人位の人身が必要で、作るのがどれだけ大変なのかがわかった』

『東日本大震災による被害を早く復旧し、二度とあのようなことが起きないようにこのケーソンが守ってくれば良いと思う。僕もこのような大きな仕事がいつかできるようになりたい』

『防波堤として人々を津波から守る役割を果たすケーソンの製作を見学できたことは、土木の力を改めて人々に必要とされるものであることを認識し、土木の力で生活を支えていける凄さを知ることができた』

などたくさん感想をいただきました。

今後も安全第一で復旧工事を進めて参ります。



工事担当より概要説明



ケーソン製作の様子を見学



むつ小川原港ケーソンヤードにて製作中のケーソン

